

全国旅行支援（やっぱ広島じゃ割）の予算超過執行について

1 要旨

全国旅行支援「やっぱ広島じゃ割」の運営にあたり、予算を超過して執行している状況が判明したため、現状及び今後の対応を報告する。

2 経緯

- ・令和4年10月11日 「やっぱ広島じゃ割(旅行・宿泊割引プラン)」開始(終期12.27)
- ・令和5年1月10日 国の制度延長を踏まえ、再開
- ・令和5年3月10日 終期を3月31日から6月30日までに延長
- ・令和5年5月23日 「旅行割引プラン」の新規予約停止
- ・令和5年6月9日 「宿泊割引プラン」の新規予約停止

3 予算超過執行額 [6/22 現在]

県の予算額に対して、最大約3億6千万円超過する見込み

※ 販売したものの、実際にはキャンセルとなるものもあり、7月中旬以降に確定する見込

(単位：千円)

	県の予算額	執行見込額 (精査中)	不足額
旅行割引プラン	1,969,200	2,246,769	▲ 277,569
宿泊割引プラン	656,370	436,891	219,479
地域クーポン	1,000,000	1,461,952	▲ 461,952
事務局費	625,113	465,113	160,000
計	4,250,683	4,610,725	▲ 360,042

4 予算超過執行の原因

- (1) 観光連盟及び県において、できるだけ執行残を出さず予算執行率を高めるために、大手旅行会社(50社)への予算枠を超えた上乘せ配分(約1.2倍)を実施したこと
- (2) 運営スキーム全体として、やっぱ広島じゃ割事務局、観光連盟、県において、関係者間での連携や情報共有が不足するとともに、予算執行状況の確認や停止方法が十分確立されていなかったため、想定以上の新規予約が行われる中で、販売停止が遅れてしまったこと
- (3) 割引上限など制度が変更になる中で、観光連盟及び県が想定していた旅行・宿泊プランに要する経費に対する地域クーポンの比率が、見込みよりも高い実績となり、地域クーポンの支出が増加したこと

5 既販売分の取扱い

旅行者が既に予約した商品に関しては、予約した内容で利用可能である。

6 今後の対応

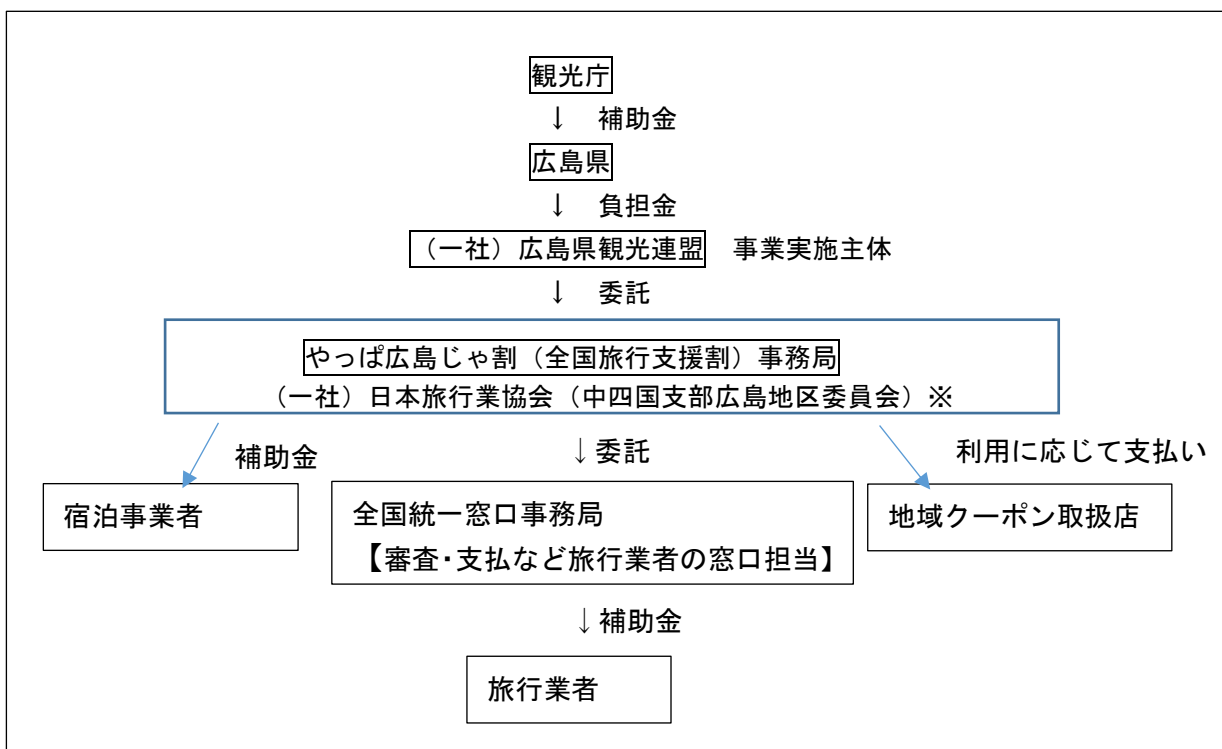
(1) 再発防止策

- 関係者間における連携や情報共有の不足が予算超過を生じさせた要因の一つであることから、事業を進めるに当たっての報告・連絡・相談という基本動作の再徹底を関係職員に押し付けた。
- 今後、より適切な予算の執行管理体制を整え、事業を実施する。

(2) 予算上の対応

最終執行額を精査の上、必要な対応を行う。

〔参考1〕運営スキーム



※ (株) JTB広島支店を代表企業とするコンソーシアムで運営

〔参考2〕やっぱ広島じゃ割の制度概要

	R5. 1. 10~6. 30	R4. 10. 11~12. 27
誘致対象	全国	全国
割引上限	宿泊・旅行代金の20% ・交通付旅行商品上限 5千円/人泊 ・上記以外上限 3千円/人	宿泊・旅行代金の40% ・交通付旅行商品上限 8千円/人泊 ・上記以外上限 5千円/人
地域クーポン (上限)	平日 2千円/人 休日 1千円/人	平日 3千円/人 休日 1千円/人